



Copyright © 2013 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 前提条件
 - 2.2.1. セキュリティ機能の前提条件
 - 2.3. 対象読者
 - 2.4. 用語解説
 - 2.5. intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合
- 3. インストール前に
 - 3.1. 全体のインストール作業の流れ
 - 3.2. 必要なライセンス
 - 3.3. インストール前に必要な確認事項
 - 3.4. 正常に動作しない環境
 - 3.5. 注意事項
 - 3.5.1. intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合
 - 3.5.2. intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合
 - 3.6. 運用マシン構成
- 4. インストール・環境設定
 - 4.1. intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合
 - 4.1.1. PDFメイクアップのインストール
 - 4.1.2. 環境変数の設定
 - 4.1.3. プロジェクトの作成とモジュールの選択
 - 4.1.4. 設定ファイルの編集
 - 4.2. intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合
 - 4.2.1. intra-mart Accel Platform サーバでの作業
 - 4.2.2. リモートサーバ (SOAP) での作業
- 5. アンインストール
 - 5.1. intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用している場合
 - 5.1.1. 作業前に...
 - 5.1.2. Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) の削除
 - 5.1.3. 環境変数の削除
 - 5.1.4. PDFメイクアップのアンインストール
 - 5.2. intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用している場合

- 5.2.1. intra-mart Accel Platform サーバでの作業
- 5.2.2. リモートサーバ (SOAP) での作業
- 6. トラブルシューティング (うまく動かない場合は...)
 - 6.1. iAPサーバでの確認事項
 - 6.2. PDF処理サーバでの確認事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-10-11	初版
2014-07-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 目次構成を改善しました。
2014-12-01	第3版 ドキュメント全般 Windows Server 2012 R2 向けの記述を追加しました。
2015-07-01	第4版 設定ファイルの編集の記述を追加、トラブルシューティングにコラムを追加しました。
2016-08-01	第5版 Tomcatの起動ユーザ（管理者権限が必須）の記述を追加しました。
2016-12-01	第6版 IM-Juggling経由でのインストールに対応しました。
2018-12-01	第7版 下記に対応をいたしました。 <ul style="list-style-type: none"> 「intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合」の章で「OSを再起動してください。」と明記しました。 「リモートサーバ (SOAP) での作業」の章で「OSを再起動してください。」と明記しました。 表記のゆれを訂正しました。
2020-04-01	第8版 下記に対応をいたしました。 <ul style="list-style-type: none"> Windows 7 / Windows Server 2008 の記述を削除しました。 「プロジェクトの作成とモジュールの選択」に「アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。」と明記しました。 CD-ROMの記述を削除しました。 UACの監視下にあるディレクトリをインストール先として避ける記述を追加しました。
2020-12-01	第9版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none"> 「intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合」 <ul style="list-style-type: none"> 「環境変数の設定」の記述を変更 「リモートサーバ (SOAP) での作業」 <ul style="list-style-type: none"> 「環境変数の設定」の記述を変更 「warファイルのデプロイ」の記述を変更

はじめに

目次

- 本書の目的
- 前提条件
 - セキュリティ機能の前提条件
- 対象読者
- 用語解説
- [intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ \(SOAP\) を用意して運用する場合](#)

本書の目的

本書では Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のセットアップ手順について説明します。

前提条件

1. Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) には、PDFファイルにセキュリティを付与する機能があります。
2. 本機能は、
 - intra-mart Accel Documents と同一サーバ上に構築する方法
 - intra-mart Accel Documents サーバとは別に専用の リモートサーバ (SOAP) を用意しその上に構築する方法の2種類の構築方法があります。
3. intra-mart Accel Documents サーバとは別に専用の リモートサーバ (SOAP) を構築する場合は、下記の「[intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ \(SOAP\) を用意して運用する場合](#)」を参照してください。
4. 以下のドキュメントに記載されているシステム要件を満たしている必要があります。
 - 「intra-mart Accel Platform リリースノート」
 - 「intra-mart Accel Documents リリースノート」
 - 「Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) リリースノート」
 - 「PDFメイクアップ マニュアル」
5. 重要 注意事項
 - PDFファイルのオープンパスワードとセキュリティパスワードは、同一にしないでください。

- 同一のパスワードを設定した場合、PDFファイルを開いた状態でPDFファイルが編集加工が可能な状態となります。セキュリティ用のスクリプト等が解除可能になり、セキュリティ上のリスクがあります。
- PDFファイルのセキュリティパスワードを未入力（NULLも含む）にしないでください。Adobe Acrobat等ではセキュリティパスワードが未入力の場合、パスワードが設定されていないと判断され、印刷や加工が可能となります。

セキュリティ機能の前提条件

1. Adobe Reader上の設定条件

- 「環境設定」→「JavaScript」→「Acrobat JavaScript を有効にする。」をONにする必要があります。
- メニュー構成は、Adobe Readerのバージョンに依存するため、ご利用中のバージョンに合わせて適宜読み替えてください。

2. ファイル自体をダウンロード不可とする製品と同等の機能ではありません。

- PDFファイルのダウンロードは出来ます。
- 画面のキャプチャは出来ます。
- PDFファイルのみが対象です。
- PDFファイルにパスワードが付与されており、パスワードがわからない場合、新たにセキュリティを付与することはできません。
- 前提として、Adobe Reader/Acrobatが適切な環境設定で動いている必要があります。
- URL制限の機能を利用する場合、Adobe Reader/Acrobatの設定にて「JavaScript許可」「インターネットブラウザにてPDFをブラウザで表示するにチェック（URL指定の場合）」が必要です。

3. URL制限機能の注意事項

- URL指定機能は、実際にAdobe Readerが認識するURLでチェックします。必ず想定している環境にて事前確認をお願いします。
- URL制限の仕組みでは、「まったく同じURLを構築された場合見えてしまう」というリスクがあります。
このため、エラー画面等にURL表示することは避けてください。また、できる限り可変のURLを指定することを推奨します。

4. 閲覧制限付PDFファイルは制限（抜け道）のあるセキュリティ機能です。

- 個人情報等の100%情報漏えいさせたくないような場合には向いていません。そのような場合はPDFファイルのオープンパスワードを使用してください。
- あくまでセキュリティが強化されるという認識でご利用ください。

5. サポートするPDFファイルの種類

- サポート対象のPDFファイルの種類についての詳細は、添付資料を参照してください。
- 添付資料以外のPDFファイルでも、別途有償にてサポート可能な場合があります。個別に営

6. セキュリティ強度について

- ファイルを開くためのパスワード（以下、オープンパスワード）のセキュリティは、ファイルの中身を暗号化するため強固です。
 - ファイルの中身が暗号化されますので、オープンパスワードがわからない限り閲覧することはできません。
 - 非常に重要な文書に関しては、オープンパスワードを併用することを推奨します。
- 総当たり攻撃を考慮した場合、強度はパスワード長さに依存します。20文字以上にすることで総当たり攻撃にも耐える強度が確保されますが、パスワードの長さは現実の運用を考えてご判断ください。
- セキュリティパスワードの強度は、オープンパスワードより低いです。これは、セキュリティパスワードはファイルの中身を暗号化している訳ではなく、印刷/編集等の利用可否をフラグで制御していることに起因します。
- PDFファイルの規格上のセキュリティと、JavaScriptで強制的に稼働するセキュリティとで制限が異なります。
 - パターンとしては以下の3種類（JavaScriptで2つに分岐）があります。
 - (1) オープンパスワード/セキュリティパスワード/JavaScript
 - (2) オープンパスワード/セキュリティパスワード
 - (3) セキュリティパスワード/JavaScript
 - オープンパスワードとセキュリティパスワードに同じ文字列を指定しないでください。
 - JavaScriptのみのセキュリティでは、JavaScriptの中身が見えてしまうため、セキュリティパスワードとの併用を推奨します。
 - セキュリティパスワードをユーザに周知する運用も、JavaScriptの中身が見えてしまうため推奨しません。

7. 有効期限の設定

- 有効期限の設定は、年月日で指定可能です。時間は指定できません。
- 時間を指定した場合、時間の指定は無視されます。
- 2013/05/30 ~2013/05/30 と指定した場合、2013/05/30中はPDFを開くことができません。
- 期限の日付は、PDFファイルを開いているマシンの日付が適用されます。

対象読者

以下の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform、intra-mart Accel Documents 上に、Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のセットアップを行われる方

用語解説

- Resin をインストールしたディレクトリを %RESIN_HOME% と略します。
- Apache HTTP Server をインストールしたディレクトリを %APACHE_HOME% と略します。
- Storage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。
- Webサーバ利用時の静的コンテンツを配置するディレクトリを %WEB_PATH% と略します。
- Tomcatをインストールしたディレクトリを %CATALINA_HOME% と略します。
- PDFメイクアップ をインストールしたディレクトリを %PDFMAKEUP% と略します。

intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のセキュリティ機能には、

1. APサーバにインストールして呼び出す方式
2. SOAPの機能を使用して呼び出す方式

の2種類の呼び出し方法があります。基本はSOAPの機能を使用して呼び出す方式をご利用ください。

- SOAPの機能を使用して呼び出す方式のメリット
APサーバが複数台あっても、1台のマシンで集中処理を行うことが出来ます。また、サーバ1台構成の場合も、この呼び出し方で対応可能です。
Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は動作するためにWindows環境が必要です。intra-mart Accel Platform サーバがWindows以外のOSで稼働しており、Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) がインストールできない構成である場合に、Windowsの処理専用サーバを別途立てて頂くことで、対応が出来ます。
intra-mart Accel Documents、Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) の使用頻度が高く、負荷分散させて運用をしたい場合
セットアップガイドの「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」を参照してください。
- 呼び出し方法の切り替え - APサーバにインストールして呼び出す方式を利用する場合
Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のセキュリティ機能は、APサーバにインストールして呼び出す方式を利用する場合は以下のような場合が想定されます。

ユーザへのレスポンスを極力早く行うため、複数のAPサーバにおいて、処理を行わせたい場合。ライセンス料はインストールするAPサーバ分必要ですので、注意してください。

切り替えは、設定ファイル 「pdfprotection.xml」 で可能です。

ソースコードの修正は不要です。設定ファイルのみで切り替えが可能です。
設定方法は、以下を参照してください。

インストール前に

目次

- 全体のインストール作業の流れ
- 必要なライセンス
- インストール前に必要な確認事項
- 正常に動作しない環境
- 注意事項
 - intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合
 - intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合
- 運用マシン構成

全体のインストール作業の流れ

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は、2種類のサーバ構成での運用が可能です。

ご利用のサーバ構成にあわせてインストール作業を行ってください。

1. intra-mart Accel Platform 、 intra-mart Accel Documents と同一サーバ上で運用する場合
 - intra-mart Accel Platform サーバでのインストール作業
 1. PDFメイクアップ のインストール
 2. 環境変数の設定
 3. warファイルのデプロイ
 4. jarファイルの配置
 5. 設定ファイルの配置
 6. 設定ファイルの編集
 7. サンプルの実行
2. intra-mart Accel Platform サーバとは別に、 リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合
 - intra-mart Accel Platform サーバでのインストール作業
 1. jarファイルの配置
 2. 設定ファイルの配置
 3. 設定ファイルの編集
 4. サンプルの実行

- リモートサーバ (SOAP) でのインストール作業

1. Javaランタイムのインストール
2. Tomcatのインストール
3. PDFメイクアップ のインストール
4. 環境変数の設定
5. warファイルのデプロイ
6. Tomcatの起動

付属のサンプルプログラムが正常に動作することを確認し、インストール作業は完了です。

必要なライセンス

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) をご利用いただくには、以下のライセンスが必要になります。

製品のインストールの際にライセンスを入力してください。

ライセンスが未入力の状態では動作しませんのでご注意ください。

- PDFメイクアップ のライセンス
- 利用ユーザ数分のライセンス

インストール前に必要な確認事項

インストール前に、必ず以下を設定・確認してください。

- OSの最新のパッチを適用してください。
- 必ずインストールするマシンに管理者権限 (Administrator) でログインしてください。ネットワークの管理者権限 (Network Administrator) は不可です。そのマシンの管理者権限 (Administrator) でログインしてください。

正常に動作しない環境

- 正常に動作しない環境については、各製品マニュアルを参照ください。

注意事項

以下を事前にご確認ください。

- ウイルスソフトによっては、チェック時にファイルを掴むものがあり、作業フォルダをウイルスチェックの対象から外していただく必要がある場合があります。
- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は、基本

Windowsマシン上に構築する必要があります。Linux、UNIXマシンでのご利用は、個別に営業までお問い合わせください。

- Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) で作成したPDFファイルを閲覧するためには、AdobeReader等の閲覧ソフトが必要です。

intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合

- intra-mart Accel Platform を複数台用意する場合は、その数分の Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) ライセンスが必要です。

intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合

- 各サーバのJDKバージョンは一致させてください。異なるJDKのバージョンが混在した環境はサポート対象外です。
- リモートサーバ (SOAP) は、単独で動作可能であり、intra-mart Accel Platform がインストールされている必要はありません。
- リモートサーバ (SOAP) は、複数台用意して分散環境として使用可能です。この場合、その数分の IM-PDFCoordinator for Accel Platform ライセンスが必要です。
- その他注意事項については、各製品マニュアルを参照してください。

運用マシン構成

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) は、intra-mart Accel Documents 上で動作するセキュリティ製品です。

以下に、マシン構成例を示します。

- マシン構成例 (1)
intra-mart Accel Platform サーバ (Windows) 1台で運用するケースです。
- マシン構成例 (2)
intra-mart Accel Platform サーバ (Windows) 1台と、リモートサーバ (SOAP) 1台で運用するケースです。
- マシン構成例 (3)
intra-mart Accel Platform サーバ (Linux) 1台と、リモートサーバ (SOAP) 1台で運用するケースです。
- マシン構成例 (4) - 分散環境
intra-mart Accel Platform サーバ (Linux) 1台と、リモートサーバ (SOAP) 2台で運用するケースです。

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のセットアップに必要な以下のインストールおよび設定を行います。

intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用する場合

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台用意する場合は、すべての intra-mart Accel Platform に以下の作業を実施してください。

目次

- PDFメイクアップ のインストール
- 環境変数の設定
- プロジェクトの作成とモジュールの選択
- 設定ファイルの編集

PDFメイクアップ のインストール

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. PDFメイクアップ のインストーラを起動して、マニュアルに沿ってインストールしてください。PDFメイクアップ には、32bit版 / 64bit版 がございます。JDKのビット数に合わせて、PDFメイクアップ の32bit版 / 64bit版インストーラを選択してください。32bit版、64bit版でインストーラが異なりますので注意してください。
3. OSを再起動してください。



コラム

UACの監視下にあるディレクトリにインストールした場合、ディレクトリの読み書きにおいて制限を受ける可能性があります。

PDFメイクアップ のインストール先に、「Program Files」等 UACの監視下にあるディレクトリは避けてください。

(インストール先の例) C:\tool\PDFMakeup

環境変数の設定

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。

- 以下の環境変数を設定します。

通常、システム環境変数に設定いただければ問題ありません。

PDFオートコンバータEX の環境変数が既に設定されている場合は、それよりも前に設定してください。

環境変数名	設定内容
PATH	%PDFMAKEUP%/bin

- 以下を設定してください。

intra-mart Accel Platform サーバの共通libフォルダ（%RESIN_HOME%/libが一般的）に <makeup.jar> ファイルを配置します。

<makeup.jar> ファイルは、libフォルダにあります。

場所	ファイル名
%RESIN_HOME%/lib	makeup.jar

- コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行してください。

```
> ypdfmulc
```

- 以下の画面が表示されれば環境変数の設定は完了です。

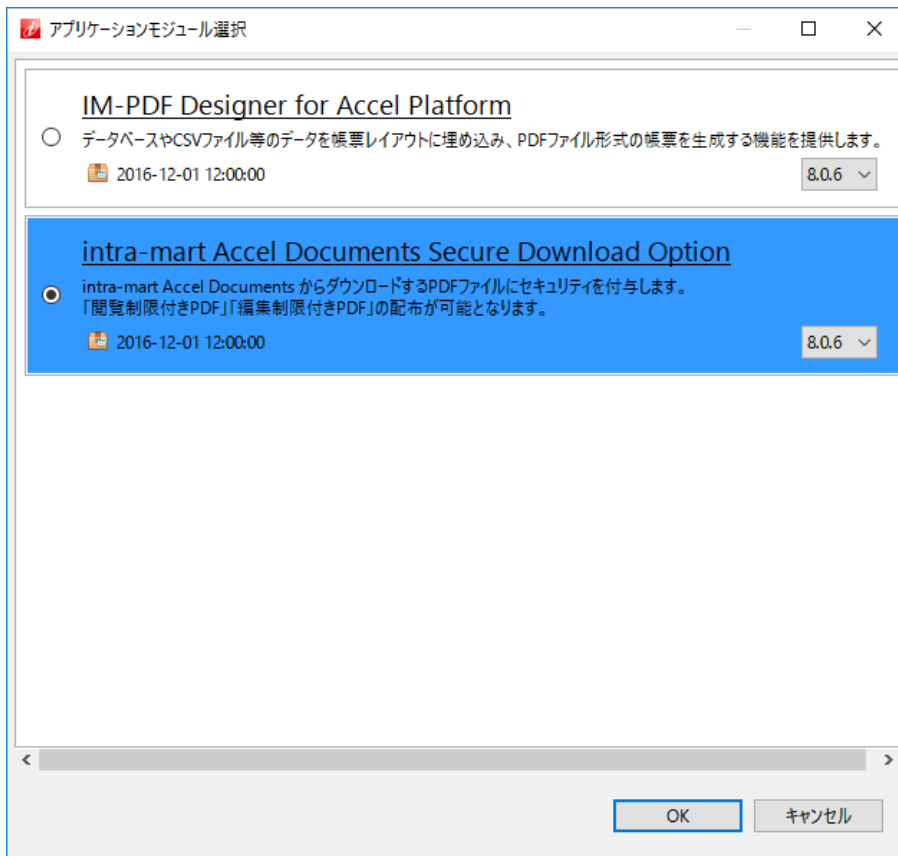


コラム

環境変数設定後は、必ず Resin をプロセスごと再起動してください。

プロジェクトの作成とモジュールの選択

- 「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」にしたがって、プロジェクトを用意します。
プロジェクトの作業手順の詳細については、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」を参照ください。
- IM-Juggling で利用するアプリケーションを選択する際に、「Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース)」を指定します。
- WARファイルを生成しデプロイします。
WARファイルの生成及びデプロイの手順については、「intra-mart Accel Platform セットアップ



! 注意

下記アプリケーションを複数同時に選択する場合は、必ず同じバージョンを選択してください。

- IM-PDFDesigner for Accel Platform
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform
- IM-PDFCoordinator for Accel Platform
- IM-PDFDirectPrint for Accel Platform
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform

! 注意

既に Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) を導入中で、Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) 8.0.6 以降にバージョンアップする場合には、IM-Juggling のユーザモジュールから IM-PDFCoordinator for Accel Platform を削除してください。

i コラム

アプリケーションは後で追加することもできます。追加する方法は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「アプリケーションの追加」を参照してください。

1. intra-mart Accel Platform に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. <pdfprotection.xml> ファイルを環境に合わせて修正してください。
3. 修正後 intra-mart Accel Platform を再起動してください。
4. 以上で作業は完了です。

ファイル	場所
pdfprotection.xml	%RESIN_HOME%/webapps/{アプリケーション名}/WEB-INF/classes

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE properties SYSTEM "http://java.sun.com/dtd/properties.dtd">
<properties>
  <comment></comment>

  <!-- 一時フォルダ (未設定の場合は環境変数TMPまたはTEMPを使用) -->
  <entry key="tempdir"></entry>

  <!-- WebサービスのURL (エンドポイント) -->
  <!-- 複数サーバで負荷分散 (ラウンドロビン) する場合、keyの連番をカウントアップして複数定義してください。 -->
  <!--
  <entry
key="endpoint.1">http://192.168.0.1:8080/pdfprotection/services/PdfProtectionService</e

  <entry
key="endpoint.2">http://192.168.0.2:8080/pdfprotection/services/PdfProtectionService</e

  <entry
key="endpoint.3">http://192.168.0.3:8080/pdfprotection/services/PdfProtectionService</e

  -->

  <!-- PDF編集モード -->
  <!-- URLセキュリティ、または、期間セキュリティを付与する場合に、フォーム、注釈、リンクを削除するかどうかを指定します。未指定の場合は0で初期化されます。 -->
  <!-- 0 : フォーム、注釈、リンクを削除する -->
  <!-- 1 : フォーム、注釈、リンクを削除しない -->
  <entry key="editmode">0</entry>
</properties>
```




コラム

API (Java) を利用する場合は、<entry ...>タグは必要ありません。<entry ...>の行をすべて削除、またはコメントアウトしてください。自動的に、API (Java) で処理が実行されます。



コラム

API (SOAP) を利用する場合は、<entry ...>タグにサーバのURLを台数分 記載してください。自動的に、API (SOAP) で処理が実行されます。

intra-mart Accel Platform サーバとは別に、 リモートサーバ (SOAP) を用意して運用する場合

セットアップガイドをご説明します。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台 用意する場合は、各 intra-mart Accel Platform に以下の作業を実施してください。

目次

- [必要な作業](#)

必要な作業

以下の作業を実施してください。

1. 「 [プロジェクトの作成とモジュールの選択](#) 」
2. 「 [設定ファイルの編集](#) 」

リモートサーバ (SOAP) での作業

リモートサーバ (SOAP) での作業内容を説明します。

リモートサーバ (SOAP) を複数台 用意する場合は、すべてのサーバに対して以下の作業を実施してください。

目次

- Javaランタイムのインストール
- Tomcat のインストール
- PDFメイクアップ のインストール
- 環境変数の設定
- warファイルのデプロイ
- 設定ファイルの編集
- Tomcat の起動
- アプリケーションの確認

Javaランタイムのインストール

1. リモートサーバ (SOAP) に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
 以下は参考としてJDK.Ver.7.x の前提で記述しています。基本は intra-mart Accel Platform で使用するJDKのバージョンと合わせてください。
2. Javaランタイムをダウンロードします。Javaランタイムのインストーラは、オラクル社のサイトからダウンロードできます。
<http://java.com/ja/download/> (2013年10月 現在)
3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。インストールに関する詳細は、オラクル社のサイトを参照してください。
4. インストール完了後に、コマンドラインに以下を入力しリターンキーを押します。

```
> java -version
```

5. コマンドラインにJavaのバージョン情報が表示されたら、インストールは成功です。

Tomcat のインストール

1. リモートサーバ (SOAP) に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
 以下は参考としてTomcat.Ver.7.x の前提で記述しています。
2. Tomcatのインストーラをダウンロードします。
<http://tomcat.apache.org/> (2014年12月 現在)
3. ダウンロードしたインストーラから、インストールを行います。
 インストールに関する詳細は、該当ドキュメントを参照してください。
4. 各サーバの環境に合わせて、Tomcatを適宜 設定してください。
5. Tomcatのポート番号は Resinサーバ のポート番号と衝突しないようにしてください。
 Tomcatのポート番号は %CATALINA_HOME%/conf/server.xml にて設定できます。



コラム

Tomcatは、Ver.7.x / 8.x で検証しています。他のアプリケーションサーバ上で稼働させる場合は、個別に営業までご相談ください。

PDFメイクアップのインストール

1. リモートサーバ (SOAP) サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. PDFメイクアップのインストーラを起動して、マニュアルに沿ってインストールしてください。
3. インストール先に、「Program Files」等 UACの監視下にあるディレクトリは避けてください。
PDFメイクアップには、32bit版 / 64bit版 がございます。
JDKのビット数に合わせて、PDFメイクアップの32bit版 / 64bit版インストーラを選択してください。
32bit版、64bit版でインストーラが異なりますので注意してください。
4. OSを再起動してください。

環境変数の設定

1. リモートサーバ (SOAP) に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を設定します。
環境変数は、Tomcatの起動ユーザから参照できるように設定してください。
通常であればシステムの環境変数に設定いただければ問題ありません。
PDFオートコンバータEX (PDFオートコンバータEX)を同一のマシンにインストールする場合、
環境変数の並び順を環境変数の並び順をPDFメイクアップ⇒IM-PDFオートコンバータ (PDFオートコンバータEX) の順番にインストールしてください。

順番を間違えると以下のエラーが発生します。

-8 PDFメイクアップでエラーが発生しました。

[20];File open error[Filename;C: . . . AutoConverterEXetclocale.prop][指定されたファイルが見つかりません。]

環境変数名	設定内容
PATH	%PDFMAKEUP%/bin

3. 以下を設定してください。
Tomcat の共通libフォルダ (%CATALINA_HOME%/lib が一般的) に、<makeup.jar> ファイルを配置します。
<makeup.jar> ファイルは、libフォルダにあります。

場所	ファイル名
%CATALINA_HOME%/lib	makeup.jar

4. コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行してください。

```
> ypdfmulc
```

5. 以下の画面が表示されれば環境変数の設定は完了です。



コラム

環境変数設定後は、必ず Resin をプロセスごと再起動してください。

warファイルのデプロイ

- serverフォルダを開き、<pdfprotection.war> ファイルを、TomcatのWEBアプリケーション配置ディレクトリにコピーします。
通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。



コラム

複数台のリモートサーバ（SOAP）を用意している場合は、すべてのリモートサーバ（SOAP）に対して実施してください。



コラム

Tomcat 7.x / 8.x にて検証しています。左記以外の環境で稼働する場合は、個別に営業までお問い合わせください。



注意

warファイルのデプロイには、WEBアプリケーションサーバが停止している必要があります。

設定ファイルの編集

- intra-mart Accel Platform に管理者権限（Administrator）のあるユーザでログインしてください。

2. <pdfprotection.xml> ファイルを環境に合わせて修正してください。

ファイル	場所
pdfprotection.xml	%CATALINA_HOME%/webapps/pdfprotection/WEB-INF/classes

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE properties SYSTEM "http://java.sun.com/dtd/properties.dtd">
<properties>
  <comment></comment>

  <!--

=====

      クライアントモジュールの設定

=====

-->
  <!-- 一時フォルダ (未設定の場合は環境変数TMPまたはTEMPを使用) -->
  <entry key="tempdir"></entry>
</properties>
```

3. <axis2.xml> ファイルを環境に合わせて修正してください。

ファイル	場所
axis2.xml	%CATALINA_HOME%/webapps/pdfprotection/WEB-INF/conf

32行目の「クライアントからアップロードされるファイルの一時保存先」は必ず指定する必要があります。

```
<axisconfig name="AxisJava2.0">
  ~~~~~省略~~~~~
  <!--Uncomment if you want to enable file caching for attachments -->
  <parameter name="cacheAttachments">true</parameter>
  <!-- 添付ファイル (クライアントからアップロードされるファイル) の一時保存先です。必ず指
  定してください -->
  <parameter name="attachmentDIR">C:\tmp</parameter>
  <parameter name="sizeThreshold">4000</parameter>
  ~~~~~省略~~~~~
</axisconfig>
```

4. 修正後 intra-mart Accel Platform を再起動してください。

5. 以上で作業は完了です。

1. Tomcatを起動してください。



コラム

Tomcat起動中のログに異常（Exceptionなど...）がないことを確認ください。
Exception等が発生している場合は、適宜修正してください。



コラム

管理者権限（Administrator）のあるユーザでの起動が必須です。

アプリケーションの確認

1. リモートサーバ（SOAP）上で、ブラウザを立ち上げ、次のURL「<http://localhost:8080/pdfprotection/services/PdfProtectionService?wsdl>」にアクセスして下記の画面が表示されるか確認してください（8080の部分には環境に合わせてポート番号を指定してください）。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<wsdl:definitions xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:ns1="http://org.apache.axis2/xsd"
  xmlns:ns="http://service.pdfprotection.iothe.co.jp"
  xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
  xmlns:http="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/http/"
  xmlns:ax21="http://com.pdfprotection.iothe.co.jp/xsd"
  xmlns:ax22="http://core.pdfprotection.iothe.co.jp/xsd"
  xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:mime="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/mime/"
  xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
  xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
  targetNamespace="http://service.pdfprotection.iothe.co.jp">
  <wsdl:documentation>PDF Protection</wsdl:documentation>
  <wsdl:types>
    <xs:schema attributeFormDefault="qualified" elementFormDefault="qualified"
      targetNamespace="http://core.pdfprotection.iothe.co.jp/xsd">
      <xs:complexType name="PdfDocInfo">
        <xs:sequence>
          <xs:element minOccurs="0" name="author" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="keywords" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="producer" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="subject" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="title" nillable="true" type="xs:string" />
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
      <xs:complexType name="PdfStandardSecurity">
        <xs:sequence>
          <xs:element minOccurs="0" name="accessibility" type="xs:int" />
          <xs:element minOccurs="0" name="changes" type="xs:int" />
          <xs:element minOccurs="0" name="contentExtraction" type="xs:int" />
          <xs:element minOccurs="0" name="encryptionType" type="xs:int" />
          <xs:element minOccurs="0" name="openPassword" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="permissionsPassword" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="printing" type="xs:int" />
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
      <xs:complexType name="PdfFormSecurity">
        <xs:sequence>
          <xs:element minOccurs="0" name="dialogMessage" nillable="true" type="xs:string" />
          <xs:element minOccurs="0" name="fromDate" nillable="true" type="xs:dateTime" />
          <xs:element minOccurs="0" name="toDate" nillable="true" type="xs:dateTime" />
        </xs:sequence>
      </xs:complexType>
      <xs:complexType name="PdfUrlSecurity">
        <xs:sequence>

```

2. 以上で作業は完了です。

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) のアンインストールに必要な以下の作業を行います。

intra-mart Accel Platform と同一サーバ上で運用している場合

intra-mart Accel Platform での作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform を複数台 ある場合は、各 intra-mart Accel Platform に以下の作業を実施してください。

目次

- [作業前に...](#)
- [Accel Documents Secure Download Option \(PDFセキュリティインタフェース\) の削除](#)
- [環境変数の削除](#)
- [PDFメイクアップのアンインストール](#)

作業前に...

Resinが停止されている必要があります。

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) の削除

1. IM-Jugglingの「アプリケーション」タブで、「Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース)」のチェックマークを外して、warファイルを作成します。
2. 作成したwarファイルを、Resinでデプロイします。



コラム

手順の詳細は、「intra-mart Accel Platform セットアップガイド」-「intra-mart Accel Platform 構成ファイルの作成」および、「intra-mart Accel Platform の起動・停止」を参照してください。

環境変数の削除

1. intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を削除します。

環境変数名	設定内容
PATH	%PDFMAKEUP%/bin

- 以下のファイルを削除します。

場所	ファイル名
%RESIN_HOME%/lib	makeup.jar



コラム

複数台の intra-mart Accel Platform を利用している場合は、すべての intra-mart Accel Platform に対して実施してください。



注意

上記作業前に、Resinを停止してください。

PDFメイクアップのアンインストール

- intra-mart Accel Platform サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
- コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、PDFメイクアップをアンインストールします。
- 以上で作業は完了です。

intra-mart Accel Platform サーバとは別に、リモートサーバ (SOAP) を用意して運用している場合

Accel Documents Secure Download Option (PDFセキュリティインタフェース) をアンインストールします。

intra-mart Accel Platform サーバでの作業

intra-mart Accel Platform サーバでの作業内容を説明します。

intra-mart Accel Platform サーバを複数台 ある場合は、各 intra-mart Accel Platform に以下の作業を実施してください。

目次

- 必要な作業

以下の、作業を実施してください。

1. 「[作業前に...](#)」
2. 「[Accel Documents Secure Download Option \(PDFセキュリティインタフェース\) の削除](#)」
3. 「[環境変数の削除](#)」

リモートサーバ (SOAP) での作業

リモートサーバ (SOAP) での作業内容を説明します。

リモートサーバ (SOAP) を複数台で運用している場合は、各 リモートサーバ (SOAP) に以下の作業を実施してください。

目次

- [作業前に...](#)
- [warファイルのアンデプロイ](#)
- [Tomcat のアンインストール](#)
- [Javaランタイムのアンインストール](#)
- [環境変数の削除](#)
- [PDFメイクアップ のアンインストール](#)

作業前に...

Tomcat / Resin は停止してください。

warファイルのアンデプロイ

1. 「pdfprotection.war」ファイルと「pdfprotection」というフォルダを、Tomcat のWEBアプリケーション配置ディレクトリから削除します。
通常は %CATALINA_HOME%/webapps です。



コラム

複数台のリモートサーバ (SOAP) を用意している場合は、すべてのリモートサーバ (SOAP) に対して実施してください。



コラム

Tomcat 7.x / 8.x にて検証しています。

Tomcat のアンインストール

1. 以下は参考としてTomcat.Ver.7.x の前提で記述しています。

2. リモートサーバ (SOAP) に、管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
3. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、Tomcatをアンインストールします。インストーラではなく、フォルダを解凍する方法でインストールしている場合は、該当フォルダを削除してください。



コラム

Tomcatは、Ver.7.x / 8.x で検証しています。

Javaランタイムのアンインストール

1. リモートサーバ (SOAP) に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、Javaランタイムをアンインストールします。

環境変数の削除

1. リモートサーバ (SOAP) サーバに管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。
2. 以下の環境変数を削除します。

環境変数名	設定内容
PATH	%PDFMAKEUP%/bin

3. 以下のファイルを削除します。

場所	ファイル名
%CATALINA_HOME%/lib	makeup.jar



コラム

複数台のリモートサーバ (SOAP) で運用している場合は、すべてのリモートサーバ (SOAP) に対して実施してください。



注意

上記作業には、Tomcat / Resin が停止している必要があります。

PDFメイクアップのアンインストール

1. リモートサーバ (SOAP) に管理者権限 (Administrator) のあるユーザでログインしてください。

2. コントロールパネルからプログラムの追加と削除を開き、PDFメイクアップをアンインストールします。
3. 以上で作業は完了です。

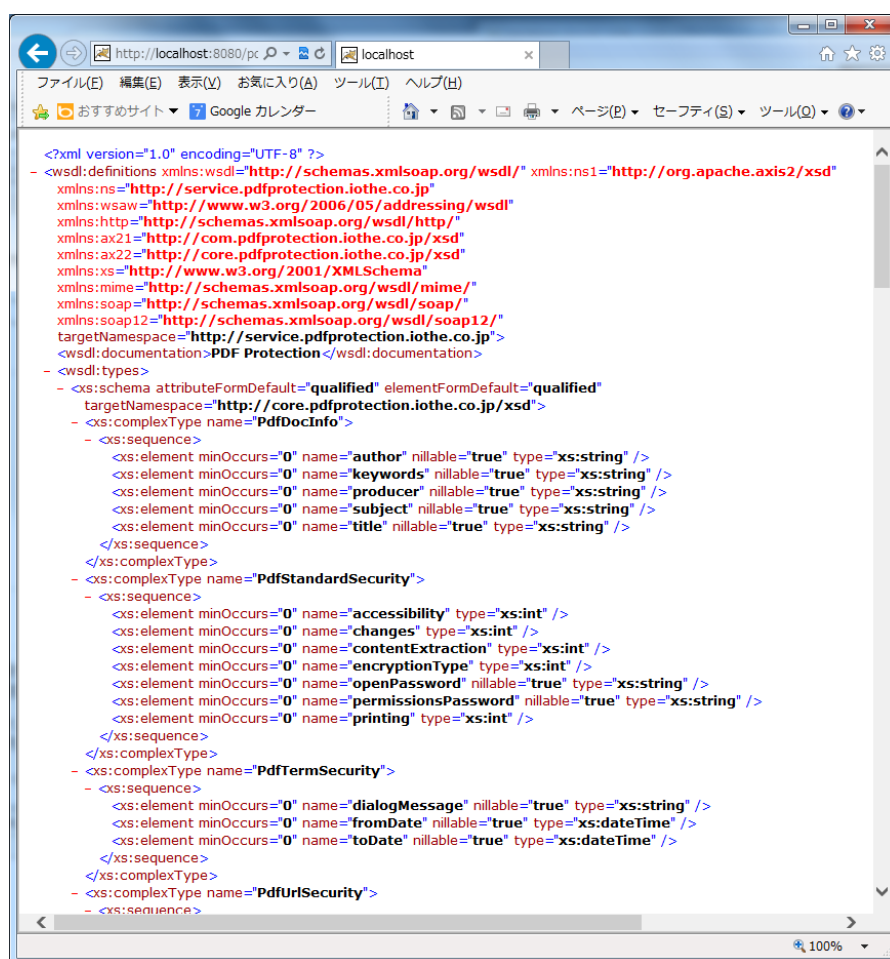
目次

- iAPサーバでの確認事項
- PDF処理サーバでの確認事項

iAPサーバでの確認事項

1. ブラウザを立ち上げ、次のURL「

<http://192.168.0.1:8080/pdfprotection/services/PdfProtectionService?wsdl>」にアクセスして下記の画面が表示されるか確認してください (192.168.0.1:8080の部分はPDF処理サーバのURLを指定してください)。



PDF処理サーバでの確認事項

1. 環境変数 PATH に各製品の bin フォルダが指定されていることを確認してください。
2. Javaのビット数 (32bit / 64bit) と製品のビット数 (32bit / 64bit) が一致していることを確認してください。ビット数が異なる場合動作しません。
3. %CATALINE_HOME%/lib に必要な jar ファイルをコピーしているか確認してください。

 コラム

UACの監視下にあるディレクトリにインストールした場合、ディレクトリの読み書きにおいて制限を受ける可能性があります。

PDFメイクアップ のインストール先に、「Program Files」等 UACの監視下にあるディレクトリは避けてください。

(インストール先の例) C:\tool\PDFMakeup

 コラム

UACが有効な環境では、正常にインストールが完了しても動作しないケースがあります。その場合は、インストーラを右クリックし、管理者権限で実行からインストールしてください。